



(住所) 檀原市忌部町1533
 (祭神) 天太玉命、大宮売命、豊
 石窓命、櫛石窓命
 (交通) JR金橋駅から徒歩約15

分。近鉄大和八木駅からバ
 スで「忌部」下車すぐ
 (拝観) 境内自由
 (駐車場) 車1台分(無料)

天太玉命神社 (檀原市)



天太玉命神社(檀原市忌部町)は、曾我川の西岸に鎮座し、忌部氏(後の齋部氏)の祖神である太玉命(天太玉命)など四座をまつっています。

齋部氏は、7世紀に中臣氏と共に天皇のための宮廷祭祀をつかさどりました。その後、中臣氏は藤原氏となり、政治的勢力

を拡大したのに対し、齋部氏は本拠地のここに居

住し、本社は氏神となりました。祭神である太玉命は、日本神話で天照大神の岩戸ごもりの際に天児屋根命と祭祀を行ったとされています。

本殿は正面の柱の間が四つある四間社流造。その左右には境内社の玉

依姫命神社と、天児屋根命をまつる春日神社があります。境内には岡本天王社も建ち、その周りはツバキの木が多いため、開花すると、一面が赤く染まります。

宮司は常駐しておらず、平素は忌部町の自治会によって管理されています。例祭は10月ですが、

7月の七十二候の一つ「半夏生」の期間に御湯神事が催行されます。今年には半夏生が始まった翌日の3日に宮司と忌部町の総代ら自治会により無病息災が祈願され、終了後、一般参拜者が御湯を自宅に持ち帰りました。

神社は齋部氏の子孫だけに、毎夕燈明がささげられ、大切に守られています。(奈良まほろばソムリエの会会員 西野稔)

半夏生に御湯神事催行

分。近鉄大和八木駅からバスで「忌部」下車すぐ